

平成31年度事業報告

1 小型船舶の交通安全に関する教育（公益1）

○ 海難防止講習会

（1）海上安全講習会

各地区の小型船安全協会会員を主としたプレジャーボート等の小型船のオーナー・ユーザー等の関係者及び水上バイクの会員を対象に安全講習会を次のとおり開催した。

| 地 区 | 回 数 | 参 加 人 員 |
|---------------|-------|-----------|
| 門 司 ・ 下 関 地 区 | 3 | 1 2 9 |
| 西 港 地 区 | 1 | 1 1 |
| 宇 部 地 区 | 1 | 5 1 |
| 洞 海 地 区 | 1 | 4 9 |
| 芦 屋 地 区 | 1 | 1 5 |
| 福 岡 地 区 | 3 | 9 5 |
| 有 明 海 地 区 | 3 | 8 0 |
| 唐 津 玄 海 地 区 | 1 | 3 0 |
| 伊 万 里 湾 地 区 | 1 | 5 0 |
| 長 崎 地 区 | 4 | 1 3 2 |
| 佐 世 保 地 区 | 2 | 2 2 |
| 平 戸 地 区 | 2 | 2 7 |
| 対 馬 地 区 | 1 | 2 8 |
| 大 分 地 区 | 1 | 2 6 |
| 白 杵 地 区 | 1 | 8 0 |
| 津 久 見 地 区 | 1 | 3 5 |
| 佐 伯 地 区 | 1 | 4 2 |
| 長 門 地 区 | 1 | 3 0 |
| 萩 地 区 | 3 | 7 4 |
| ひ び き 灘 地 区 | 1 | 5 1 |
| 合 計 | 3 3 回 | 1 0 5 7 人 |

(2) 安全講習会受講旗配布

当協会会員が積極的に安全講習会に参加することで、同会員をはじめ海洋レクリエーションの用に供する小型船舶の関係者の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序あるマリンレジャーの普及と発展に寄与することを目的として安全講習会受講旗21ヶ所1,111枚配布した。

また、船舶を持たない会員及び水上バイクの会員に安全講習会受講証を関門地区・芦屋地区・各保安部署に20枚配布した。(31年度青色)

(3) 小型船夜間航海実習研修

委託者 : 運輸安全委員会事務局 門司事務所

実施日 : 令和元年6月27日(木)

小型船による夜間航行の体験を通じて、小型船の運航に関する基礎的な知識を習得することを目的に実施した。

① オリエンテーション(関門海峡らいぶ館)

関門海峡の概要と小型船舶と題して、関門海峡の特徴、関門海峡における船舶の航跡、関門海峡の航路標識、視界不良の状況等の説明を行った。

② 航海体験実習場所: 門司港第6船溜まり～部埼灯台～若松航路～六連島

状況に応じて途中停泊、レーダーの使用、周辺の状況、見張りの方法、他船の見え具合、航海計器の使用方法を説明。

使用船舶 : 白洋

参加人員 : 調査官 7名・海上安全指導員 1名、会員(船長) 1名
九州北部小型船安全協会 事務局 2名

○ 広報活動

(1) ポスター(カレンダー)の作成

安全運航を啓蒙するため「海難0への願い」と題し、自己救命策3つの基本として、「ライフジャケットの着用」、「適切な連絡手段の確保」、「海の緊急通報118番」を訴えるカレンダーを公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成配布した。

イ 規格・作成部数 A2番 カラー 200部

ロ 配布先 各地区小型船安全協会及びその関係先

(2) マリンセーフティブックの作成

主として海上安全指導員が、陸上から訪船する現場指導やパトロール艇による海上パトロールの際に、相手に手渡す指導啓蒙用及び会員募集用のマリンセーフティブックを作成し配布した。

- イ 規格作成部数 21cm×14.8cm版 31ページカラー 1,000部
- ロ 配布先 ① 小型船安全協会会員及びその他のプレジャーボート等小型船のオーナー・ユーザー、マリーナ等

2 小型船舶に対する安全パトロール（公益1）

○ 海上安全指導員による安全活動

（1）海上安全パトロール （2）海浜パトロール

海上安全指導員に、主として日祝日等のマリンレジャーの活発な海域での安全パトロール艇によるパトロールと訪船指導を依頼し、プレジャーボート等の小型船に対し救命胴衣の常時着用、航海計画の内容、船体・機関・装備品の整備状況、気象の把握等に関して次のとおり指導した。

また、マリンレジャーが盛んな時期において、海水浴場周辺に出動し、海水浴場等来場者の安全を確保し、砂浜付近まだ進出可能な水上バイクの会員と連携し、安全指導を実施した。

| 地 区 | 現 場 指 導 人 数 | 現 場 指 導 隻 数 |
|---------------|-------------|-------------|
| 門 司 ・ 下 関 地 区 | 1 4 0 | 2 0 0 |
| 西 港 地 区 | | |
| み や こ 地 区 | 2 2 8 | 1 6 9 |
| 宇 部 地 区 | 4 8 8 | 3 9 2 |
| 洞 海 地 区 | 6 2 4 | 2 9 8 |
| ひ び き 灘 地 区 | 2 8 | 1 0 |
| 芦 屋 地 区 | 1 7 9 | 1 1 4 |
| 福 岡 地 区 | 5 9 8 | 3 8 7 |
| 有 明 海 地 区 | 1 8 1 | 1 3 1 |
| 唐 津 玄 海 地 区 | 1 1 2 | 1 1 1 |
| 伊 万 里 湾 地 区 | 3 0 8 | 2 2 6 |
| 長 崎 地 区 | 1 6 3 3 | 1 1 9 6 |
| 佐 世 保 地 区 | 5 3 1 | 3 5 3 |
| 平 戸 地 区 | 1 1 1 3 | 6 9 2 |
| 対 馬 地 区 | 4 3 3 | 3 0 0 |
| 豊 前 海 地 区 | 1 7 4 | 1 2 1 |
| 大 分 地 区 | 2 3 4 | 2 3 0 |
| 臼 杵 地 区 | 2 5 7 | 1 5 4 |
| 津 久 見 地 区 | 1 5 1 | 1 4 0 |
| 佐 伯 地 区 | 4 1 | 6 4 |

| | | |
|---------|----------|----------|
| 長 門 地 区 | 1 6 | 1 5 |
| 萩 地 区 | 3 0 8 | 1 3 2 |
| 合 計 | 7 7 7 7人 | 5 4 3 5隻 |

(3) 海上安全指導員連絡調整会議

各地区の小型船安全協会に所属する海上安全指導員の代表及び水上バイクの海上安全指導員が活動する上での問題点等について検討するとともに各地区の海上安全指導員とのコミュニケーションを図ることを目的に実施した。

実施日 : 令和元年10月3日(木)

実施場所 : 門司港湾合同庁舎 7階 会議室

出席者 : 第七管区海上保安本部 交通部 4名
各地区海上安全指導員 24名

実施内容 : 各地区指導員より活動報告、第七管区海上保安本部安全対策課への質疑応答等、AUTHENTIC JAPAN(株)の担当者より、「ココヘリ」についての説明
一般社団法人 JAPAN WATER PATROL 代表理事を招き「小型船(水上バイクを含む)の安全運航」、「マリンレジャーの海難救助、ウォーターリスクマネジメント」についての講演を行った。

3 小型船舶の安全思想の普及及び宣伝(公益2)

○ 海上イベントへの協力等

(1) 関門港ボート天国

実施日 : 令和元年7月14日(日)

実施場所 : 北九州市関門港レトロ地区と関門港門司区第1船だまり及びその付近の海域

プレジャーボートの安全運航とマリンレジャーに対する健全な普及と安全思想の啓発を図るため、関門港で開催されたボート天国に参画し、会場・水辺警備を担当したほか、一般市民150名を海上安全指導員とともにモーターボートへ試乗させる行事を実施した。

(2) ちびっ子カーニバル2019

実施日 : 令和元年8月25日(日)

実施場所 : 芦屋競艇場

芦屋競艇場において、小中学生及び保護者の海に対する基本知識や安全意識の向上

を図るため実施した。親子安全教室では、訓練用人形及びAEDトレーナーを使用して、心肺蘇生法の流れを指導した。

また、例年恒例である、水上オートバイの体験試乗も実施し、70名の参加者であった。水上バイクの体験試乗は時間制限があるため、1台は、場内に提示し、自由に写真等を撮影できるようにしたため、大好評であった。

(3) 青少年のためのカッター教室・訓練による海難防止活動の啓蒙

同地区での海難防止活動を実施している公益社団法人西部海難防止協会と協働し実施した。

- 実施日 : 令和元年年5月12日(日)
実施場所 : 門司港第2船溜まり
実践対象者 : 小学生及び保護者(20名)
教室・訓練者 : 公益社団法人ボランティア(海上保安庁OB及び海技免許受有者で漕艇経験者)
実施内容 : 関門海峡らいぶ館でカッター教室での注意事項を説明。第2船溜まりに移動し、最初に高学年の生徒からの教室を実施し、低学年の生徒に対しては、大人と一緒にカッターを経験した。

(4) 安全啓発グッズの作成配布

- ① うちわ オレンジ 2000枚
海の事故ゼロキャンペーン用として、公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成した。
配布先 : 会員及び各海上保安部署、イベント、海上安全パトロール
2000枚配布した。
- ②ストックバッグ 1000個
配布先 : イベント、海上安全パトロール・安全講習会受講者等
778個配布した。

(5) 2019九州ボートショーin福岡

- 開催日 : 平成31年4月20日(土)、21日(日)
場所 : 福岡市ヨットハーバー特設会場
来場者 : 約3,000名
来場者にパンフレット等を配布し周知活動を行った。

福岡航空基地及びAUTHENTIC JAPAN(株)の協力により、セミナーを実施した。

- セミナー : 洋上遭難者へのヘリコプターによる吊上げ救助について等

福岡航空基地 機動救難士
「ココヘリ」大切な家族のために
AUTHENTIC JAPAN(株)

(6) 西部ふれあい祭り

開催日 : 令和元年5月18日(土)
場所 : 山陽小野田市竜王山公園 オートキャンプ場
賛助会員でもある西部石油株式会社主催、宇部海上保安署の協力もと、啓蒙グッズの配布、協会パンフレット等を配布し活動等を幅広く周知した。

4 小型船舶の交通安全に関する調査及び研究(公益1)

○調査研究受託事業

(1) 小型船舶の活動海域の実態調査

九州北部海域の小型船舶の海難の一つとして、航行中の漁船が見張り不十分により停泊中のプレジャーボートと衝突する事故が頻発していることから、これの防止のため、プレジャーボートの活動海域の調査を実施した。

委託者 : 公益社団法人西部海難防止協会

調査期間 : 自 : 令和元年9月20日
至 : 令和元年12月27日

対象者 : 免許更新講習者(三池、長崎、平戸、佐世保、五島地区)
プレジャーボート関係者524人(2,231箇所)から回答を得た。

また、第七管区海上保安本部 交通部の協力を得て、漁業関係者253人(501所)からプレジャーボートとのヒヤリーハット海域と停泊中のプレジャーボート衝突事故238隻分の発生位置を入手した。

A4版に製本した報告書2部及び報告書の電子媒体(CD)1枚を納品した。

(2) 平成31年度小型船舶在泊状況調査

① 山口県

山口県の管内の漁港、マリーナ、河川等に在泊する漁船、プレジャーボート等を調査することにより小型船舶の安全対策に資することを目的に調査を実施した。

委託者 : 公益社団法人西部海難防止協会

調査期間 : 自 : 令和元年10月1日
至 : 令和元年12月27日

対象船舶 : 漁港等に在泊する船舶とし、漁船、プレジャーボート以外の貨

物船、作業船等はその他として分類する。

山口県の漁港等(第七管区海上保安本部管轄海域)に在泊する漁船、プレジャーボート等を調査し、位置図、在泊の状況写真、漁船、プレジャーボート等種別の集計表、在泊する漁港等の管理者、連絡先(河川等不明なものは除く)調査しデータを一覧表にまとめ報告書を作成した、報告書2部、電子媒体(CD)1枚を納品した。

② 長崎県

長崎県の管内の漁港、マリーナ、河川等に在泊する漁船、プレジャーボート等を調査することにより小型船舶の安全対策に資することを目的に調査を実施した。

委託者 : 公益社法人西部海難防止協会

調査期間 : 自 : 令和元年5月16日

至 : 令和2年3月27日

対象船舶 : 漁港等に在泊する船舶とし、漁船、プレジャーボート以外の貨物船、作業船等はその他として分類する。

長崎県の漁港等(第七管区海上保安本部管轄海域)に在泊する漁船、プレジャーボート等を調査し、位置図、在泊の状況写真、漁船、プレジャーボート等種別の集計表、在泊する漁港等の管理者、連絡先(河川等不明なものは除く)調査しデータを一覧表にまとめ報告書を作成した、報告書2部、電子媒体(CD)1枚を納品した。

5 小型船による災害支援活動(公益1)

○人命救助訓練

(1) 訓練

イ 各地区小型船安全協会において、海上保安部署のもとで次のとおり人命救助訓練を実施した。

| 地 区 | 実施回数 | 参加人員 | 参加隻数 |
|--------|------|------|------|
| 芦屋地区 | 1 | 4 | 1 |
| 宇部地区 | 1 | 20 | 1 |
| 有明海地区 | 1 | 20 | |
| 長崎地区 | 1 | 41 | 5 |
| 佐世保地区 | 1 | 7 | 1 |
| 対馬地区 | 1 | 21 | |
| 伊万里湾地区 | 1 | 26 | 6 |
| 萩地区 | 1 | 30 | 3 |

| | | | |
|-----------|-----|------|-----|
| 長 門 地 区 | 1 | 20 | 2 |
| み や こ 地 区 | 1 | 6 | 2 |
| 合 計 | 10回 | 196人 | 21隻 |

(2) 救命胴衣等の貸与

新規の海上安全指導員に対し、指導時の安全確保と着用指導員として救命胴衣9着、マリンハット13個貸与した。

6 その他本協会の目的を達成するため必要な事業

○その他の事業

(1) 関係会議への出席

| | | |
|--------|---|----------------------------------|
| 令和元年5月 | 「北九州空港周辺回帰における荒天時の走錨に起因する事故防止に関する調査研究委員会 第1回委員会」 「次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究適地選定に伴う航行安全検討調査専門委員会 第2回委員会」 | (公社)西部海難防止協会 |
| 6月 | 「令和元年度西日本海難防止強調運動推進連絡会議」 「北九州空港周辺回帰における荒天時の走錨に起因する事故防止に関する調査研究委員会 第2回委員会」 | 西日本海難防止強調運動推進協議会 (公社)西部海難防止協会 |
| 7月 | 「北九州空港周辺回帰における荒天時の走錨に起因する事故防止に関する調査研究委員会 第3回委員会」 | (公社)西部海難防止協会 |
| 10月 | 「西海防セミナー」 | (公社)西部海難防止協会 |
| 11月 | 「令和元年度全国海難防止等連絡調整会議」 | (公社)日本海難防止協会 |
| 12月 | 「関門航路整備(施工計画変更)に伴う航行安全対策調査検討部会」 | (公社)西部海難防止協会 |
| 令和2年2月 | 「宇部港港湾計画改訂に伴う航行安全対策調査専門委員会 第2回委員会」 「宇部港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査委員会」 | (公社)西部海難防止協会 |

| | | |
|--------|---|--------------|
| 令和2年3月 | 「北九州響灘洋上ウィンドファーム(仮称)開発計画に伴う航行安全対策調査専門委員会」 | (公社)西部海難防止協会 |
|--------|---|--------------|

○物品販売事業（収益）

（1）協会旗頒布

当協会会員の団結と意識の向上を促し、対外的に本会の活動をアピールすることを目的として154枚を有料にて頒布した。